

2018 F2 実習羊の毛刈り

2018年(平成30年)5月10日 木曜日 倉敷・総社 26

倉敷工高生が羊の毛刈り挑戦

「モコモコ」からすっきり 飼育担当者の手ほどきを受け、夏の装いに。倉敷工業高校(倉敷市老松町)フッショナル技術科の生徒たちが9日、アニマルセラピーの一環で羊を飼育する老人保健施設・倉敷藤戸荘(同市藤戸町藤戸)を訪ねて恒例の毛刈りに挑戦した。集めた羊毛で膝掛けを作り、年明けにも施設の利用者らへ贈る予定。

藤戸荘の羊(2匹)は現在、種付けのため真庭市内の牧場に預けており、今回はそこから別の3匹を連れてきた。生徒たちは同伴の

飼育担当者の手ほどきを受けながら、羊を傷けないよう慎重にバリカンを当てて羊毛約7kgを刈り取った。今後、クリやサクラで染色して糸を紡ぎ、機織り機で膝掛け20人分を作る。完成品は藤戸荘をはじめ、近く羊毛の提供を受ける特別養護老人ホーム・倉敷シルバースター(倉敷市児島柳田町)の利用者にプレゼントする。

2年土井有羽さん(17)は「お年寄りの皆さんの体だけでなく、心も温まるような膝掛けを作りたい」と話した。(安部晃将)

倉敷・総社圏版

山陽新聞より



横たわる羊の毛をバリカンで慎重に刈る生徒



「大八です。」

「大八です。」

こんな感じで毛刈りをします。
HOW TO

